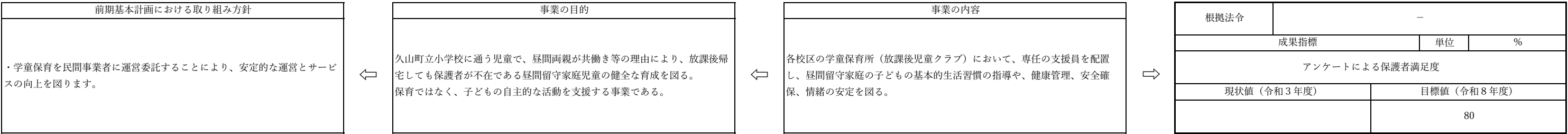


第4次久山町総合計画 前期基本計画対応 実施計画					分野		地域経営		政策	安心な子育て環境をつくる	施策	②「地域子ども・子育て支援事業」の継続と充実		
実施年度	令和	6	年度	予算科目	会計	款	項	目	継続	事業名	学童保育所運営事業（放課後児童健全育成事業）	担当課	教育課	
					1	10	1	3				担当者	小森 真奈美	

1. 事業概要



2. 実施内容（実績）

年度	令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度							
Plan (計画)	令和4年度山田小学童で待機児童が発生したため、待機児童をなくすことが課題である。				今年度より山田小学童の待機児童をなくすため、小ホールを使用することとなった。山田小も授業等で使うため、入念に打ち合わせを行う必要がある。				アンケートの結果や、保護者会と委託事業者との3者協議を通し、より保護者の満足感を得られる事業になるよう計画を行う。				アンケートの結果や、保護者会と委託事業者との3者協議を通し、より保護者の満足感を得られる事業になるよう計画を行う。											
Do (実行)	山田小学校や委託会社と協議をし、山田小ホールを学童保育所として一時的に使用することになった。				山田小学童においては、体育館の小ホールを使用するなど、既存の施設を利用することにより、効率的に事業を行うことができた。既存の施設利用については、学校への影響が懸念されたが大きなトラブルもなく円滑に事業を進められることができた。				運営内容は事業者に委託しており、トラブルや事故の防止、イベントの開催などについて、年3回3者協議を行い情報共有を図った。3年間の業務委託最終年にあたり、受託事業者選定を行った。令和7年度入所申込では電子申請ができるようにし、保護者の利便性の向上を図った。															
活動実績	入所児童数（久原小学童）				入所児童数（久原小学童）				入所児童数（久原小学童）				入所児童数（久原小学童）											
	単位		目標値		実績値		単位		目標値		実績値		単位		目標値		実績値		単位		目標値		実績値	
	人		90		103		人		120		101		人		120		106		人		120			
	入所児童数（山田小学童）				入所児童数（山田小学童）				入所児童数（山田小学童）				入所児童数（山田小学童）											
	単位		目標値		実績値		単位		目標値		実績値		単位		目標値		実績値		単位		目標値		実績値	
人		45		52		人		120		60		人		60		61		人		60				
成果指標	アンケートによる保護者満足度				アンケートによる保護者満足度				アンケートによる保護者満足度				アンケートによる保護者満足度				アンケートによる保護者満足度							
	単位		目標値		実績値		単位		目標値		実績値		単位		目標値		実績値		単位		目標値		実績値	
	%		80		72		%		80		67		%		80		75		%		80			
Check (評価)	B	令和5年度から山田小学童の待機児童をなくすことができた。			B	保護者アンケートの結果、「満足」が57%と目標値を下回った。しかし、「普通」が42%、「不満」は1%と、不満を感じている保護者は少なかった。			A	事業者との連携を図り、大きな問題や事故なく運営することができた。														
Action (改善)	令和5年度の待機児童解消に向けて準備を進め、環境改善につとめた。保護者のニーズも高く事業を進めていく必要がある。				昨年度までの待機児童の問題は解消されたが、より高い保護者満足度を目指していく必要がある。アンケートの結果や保護者会と委託事業者との3者協議を通して、より保護者の満足感を得られる事業に改善していく必要がある。				働く保護者が増え、学童保育の必要性が高まっている。次年度に向けた体制整備を早めに行う必要がある。															
事業費	予算			決算			予算			決算			予算			決算			予算			決算		
直接事業費（歳出）	25671	(千円)	25524	(千円)	32443	(千円)	32205	(千円)	32580	(千円)	32810	(千円)	34146	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		
事業費財源	24881		24852		32443		32205		24510		31351		25510		0		0		0		0			
特定	18554		18677		12003		17236		16510		26508		16510											
地方債																								
一般	6327		6175		20440		14969		8000		4843		9000											
人件費	789.8		672.2		628.5		626.5		1494.2		1459.8		1553.4		0		0		0		0			
人員数	0.1		0.1		0.1		0.1		0.2		0.2		0.2											
人件費単価	7,898		6,722		6,285		6,265		7,471		7,299		7,767											
事業費合計	26,461		26,196		33,072		32,832		34,074		34,270		35,699		0		0		0		0			
町民一人あたりの負担額	855.344	円	813.414	円	2,262.511	円	1,674.774	円	1,886.190	円	833.527	円	2,060.717	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円		

令和6年度事務事業評価シート

事業番号	事業名
健康福祉2-4-18	学童保育所運営事業(放課後児童健全育成事業)

PLAN(計画)⇒DO(実施)については総合計画進捗管理票にて記載

CHECK(評価)

No.1

自己評価

評価者

小森 真奈美

5 大 ← 小 1 ↓

1. 最も必要な事業か？

町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。
緊急性が高く、即時に実施しなければならない。
実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。
町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。

5
4
4
4

A

評価理由
児童の放課後の生活を充実させ、保護者が安心して就労等ができる環境を整備する為必要な事業である。

2. 町が実施する必要があるか？

町が実施主体となることが法令等により定められている。
公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。
民間等や国・県で実施するよりも効果的である。
民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。

4
4
4
4

B

評価理由
全児童の2割程度の利用があること、また安定的に放課後児童を見守る事業を実施する必要があることから、行政が資金面で支出することが望ましい。

3. 実施内容は適切か？

①有効性

久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。
事業の手法・活動内容は適切である。
事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。

4
5
5

A

評価理由
放課後の児童の安全安心な居場所を確保し、保護者が安心して就労できる環境を整備する事業であり有効な事業である。

②効率性

事業費に見合った成果を上げている。
外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。
実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。

5
5
4

A

評価理由
放課後児童の健全育成の場を確保するため、プロボーザル入札において審査し専門の民間事業者を選定し、業務委託を行い適切な保育環境を確保している。また国県補助金を活用しながら実施している。

③公平性・透明性

受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)
事業費に占める一般財源の額は妥当である。
ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。

5
5
4

A

評価理由
利用者に負担してもらいが、国県補助事業を活用しながら利用者の負担軽減を図っている。また、広報紙・ホームページを活用し、周知している。

今後の方向性		改善・見直しの具体的内容	
<input type="checkbox"/> S重点化	成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫	
<input checked="" type="checkbox"/> A推進	計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である	<input type="checkbox"/> 事業の効率化	
<input checked="" type="checkbox"/> B改善	計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化	
<input type="checkbox"/> C見直し	計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 事業縮小(見直し時のみ選択)	
<input type="checkbox"/> D廃止	事業の廃止を検討する必要がある	<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> E事業完了	事業完了とする	()	

自己評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

学童保育所は、主に放課後の子どもの居場所づくりに大変重要な役割になっており、必要性は非常に高い。
事業受託事業者は他自治体でも事業に携わっており経験豊富であるため、さまざまな状況に対応している。
また、保護者へのアンケートを定期的に実施し、結果を基に保護者のニーズに応える取り組みを行っていることは高く評価できる。
申込者が増加しており、今後、保育場所や支援員の増員など検討しながら、町民のニーズに対応することを検討していく。

CHECK(評価)

No.2

一次評価

評価者

選択してください

5 大 ← 小 1 ↓

1. 最も必要な事業か？

町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。
緊急性が高く、即時に実施しなければならない。
実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。
町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。

E

評価理由

2. 町が実施する必要があるか？

町が実施主体となることが法令等により定められている。
公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。
民間等や国・県で実施するよりも効果的である。
民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。

-

E

評価理由

3. 実施内容は適切か？

①有効性

久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。
事業の手法・活動内容は適切である。
事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。

E

評価理由

②効率性

事業費に見合った成果を上げている。
外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。
実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。

E

評価理由

③公平性・透明性

受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)
事業費に占める一般財源の額は妥当である。
ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。

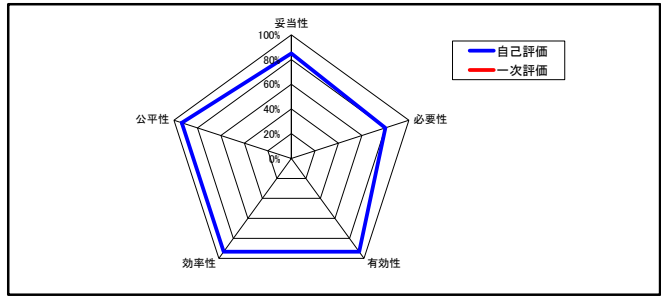
E

評価理由

今後の方向性		改善・見直しの具体的内容	
<input type="checkbox"/> S重点化	成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫	
<input type="checkbox"/> A推進	計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である	<input type="checkbox"/> 事業の効率化	
<input checked="" type="checkbox"/> B改善	計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化	
<input type="checkbox"/> C見直し	計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 事業縮小(見直し時のみ選択)	
<input type="checkbox"/> D廃止	事業の廃止を検討する必要がある	<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> E事業完了	事業完了とする	()	

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

No.3

二次評価

評価者

江上 智恵

☐ S以下の点について、成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である

☐ A以下の点について、計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である

学童保育所のニーズは高く、場所の問題はあるものの、待機児童をださず運営ができています。保育内容についても指定管理者が様々な活動を取り入れている。今後も内容の充実を図り継続していく。

☐ B計画通り進んでいるが、以下の課題を解決するため、実施方法の改善を検討する必要がある

☐ C計画どおり進んでおらず、以下の課題を解決するため、実施方法を見直す必要がある

☐ E事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする

☐ 事業の目的を達成し、事業完了したと判断する

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

ACTION(評価・改善)

No.4

外部評価

今後の方向性

改善・見直しの具体的内容

☐ S重点化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である | ☐ 実施方法の工夫 |

☒ A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である | ☐ 事業の効率化 |

☒ B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある | ☒ 受益者負担の適正化 |

☐ C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある | ☒ 事業縮小(見直し時のみ選択) |

☐ D廃止 事業の廃止を検討する必要がある | ☐ その他 |

☐ E事業完了 事業完了とする | () |

評価

B

外部評価委員会の意見

民間委託により運営面での工夫が進み、保護者アンケートでも高い満足度が示されていることから、評価できる事業である。
一方、アンケート結果から、学校との連携不足(特に子どもが学校のトラブルを抱えたまま通所する場合の対応)や、連絡アプリの使いづらさといった課題が明確で、その改善が求められる。また、若い世代の定住促進に向け、本事業の情報発信強化する必要がある。
指標は、より細かい内容を把握・分析し、改善につなげていく観点から、保護者の就労継続への寄与度や体験活動、安全性への満足度等に見直す必要がある。
今後、保護者・受託事業者・町による三者協議や、通所児童の声を拾う工夫を行い、事業改善に継続して取り組むことが望まれる。

経営者会議

経営者評価

今後の方向性

改善・見直しの具体的内容

☐ S重点化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である | ☐ 実施方法の工夫 |

☒ A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である | ☐ 事業の効率化 |

☒ B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある | ☒ 受益者負担の適正化 |

☐ C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある | ☒ 事業縮小(見直し時のみ選択) |

☐ D廃止 事業の廃止を検討する必要がある | ☐ その他 |

☐ E事業完了 事業完了とする | () |

評価

A

経営者会議の評価

本事業は、多様化する子育てニーズに対応するため、従来の保護者会による自主運営から町が事業者へ業務委託し、受益者負担を得ながら運営している。令和6年度は待機児童を出さず安定的に運営しており、保護者アンケートでも高い満足度が示されている。
利用者満足度をさらに高める取り組みである。連絡アプリの充実や学校との連携強化を検討する上では、受益者負担の在り方を検証し、事業者との協議や他自治体の状況調査を行いながら改善を進める必要がある。また、事業者アンケートを補完する意味で、町もアンケートを実施することで幅広く利用者の声を収集し、事業運営に活かしていきたい。なお、その結果については、活動指標に反映していく考えである。
事業のPRIについては、町全体の子育て環境のPRとあわせて発信するが、利用者増加に伴う受け皿確保や運営費用増への影響を踏まえ、受益者負担とのバランスを検討して実施する。

令和8年度予算要求事項(今後の取り組み)

放課後の児童の安全安心な居場所を確保し、保護者が安心して就労できる環境を整備する事業である。
利用者満足度の高い事業であるが、満足度をさらに高めるため事業者アンケートとは別に町もアンケートを実施する予定である。アプリの改善については、検討にむけた調査を行う。
あわせて、受益者負担の適正化、物価高等対策も含めて保育料の見直しも検討する。